

## (参考1) 共同計画の概要

共同計画の目標、日中の協力分野など、今後のトキ保護協力に関する基本的な枠組みを定めるもので、次の4項目により構成。

### ① 計画の目標

日中双方のトキの個体群の安定・拡大を図るため、飼育・繁殖の推進、生息環境の整備、個体群の遺伝的多様性の確保など、日中が協力して取り組むべき具体的目標を設定。

### ② 中国が行うトキ保護事業

トキ野生個体群の保護、人工飼育・繁殖の推進、飼育個体の野生復帰の実現、トキ保護に関する調査研究の推進。

### ③ 日本が行うトキ保護事業

トキの人工飼育・繁殖の推進と個体群の遺伝的多様性の確保、飼育個体の野生復帰の実施、トキ保護に関する調査研究の推進。

### ④ 日中の相互協力分野

トキの個体の交換・貸与等の繁殖協力の推進、中国のトキ保護事業に対する日本の支援、トキ保護に関する日中間の技術交流・情報交換等の推進。

## (参考2) 日中のトキ個体数について (平成22年8月時点)

日本：平成20年から野生復帰。現在、野生下で約20羽、飼育下で約170羽

中国：平成16年から野生復帰。現在、野生下で約800羽、飼育下で約600羽

## (参考3)

平成19年日中首脳会談の際、温家宝総理がトキ2羽の提供を表面。

(「華陽(ホワヤン)」(♂)と「溢水(イーシュイ)」(♀))

## (参考4) 「人とトキが共生できる地域環境づくりプロジェクト」

日本が本年9月より中国で新たに実施する技術協力プロジェクト。人とトキが共生できる地域環境づくりを目指して、環境に配慮した住民の生計向上(エコツーリズム、有機農業等)、トキ生息地に関する調査・モニタリング、環境教育の推進等を実施する予定。

実施期間：平成22年～平成27年までの5年間

実施地域：陝西省洋<sup>ねいせん</sup>県・寧<sup>らざん</sup>陝<sup>ねいせん</sup>県、河南省羅山<sup>らざん</sup>県

日本側実施機関：独立行政法人国際協力機構(JICA)(国内協力機関：環境省)

中国側実施機関：国家林業局、中国林業科学研究院、  
陝西省林業庁、河南省林業庁等

日本側協力金額(5年間)：4.5億円を予定(長期派遣専門家4名を予定)